

THE JAPAN
FOUNDATIONLos Angeles
Language Center国際交流基金
ロス・アンジェルス
日本語センターStrategy for the Support and
Promotion of Japanese
Language Education in the U.S.南カリフォルニア日本語学園
教師会議とアンケート結果分
析報告書Japanese Language Grant
Programs for 2002/2003 (via
LA-Tokyo)
平成14年度
日本語関連助成プログラム

日本語能力試験 2000

2000 Japan Foundation
Luncheon
Professional Development
FundingStaff Directory
LibraryThe Japan Foundation Los Angeles Language Center
**Strategy for the Support and Promotion of Japanese Language
Education in the U.S.****MISSION**

To contribute to the mutual understanding and friendship between the United States and Japan through the development of the Japanese language and culture education in the United States.

THREE FUNDAMENTAL STRATEGIES

- **FOCUS** – Set priority clearly on the support for the Japanese language education at the pre-collegiate level.
- **ALLIANCE** – Develop specialized projects efficiently through alliances with a wide variety of experts and special institutions.
- **INFORMATION TECHNOLOGY** – Provide services all over the country online by developing websites and other information technology.

ACTION PLANS

1. For current Japanese language programs and in-service teachers:
 - (1) Provide teachers with opportunities for a variety of training and workshops.
 - (2) Support associations of Japanese language teachers through mini grant programs.
 - (3) Develop programs to train new leaders of Japanese language education for the next generation.
 - (4) Develop and support innovative and practical program models of Japanese education to be disseminated widely to schools.
2. Outreach to encourage schools to start Japanese language programs:
 - (1) Strongly support and develop the “Japan in a Suitcase” program of the Japan-America Societies.
 - (2) Develop and support programs for non-traditional settings. For example, schools with at-risk students in the urban inner city.
3. Develop and support information technology:
 - (1) Develop websites of the Japan Foundation Los Angeles Language Center:
 - a. Online registration for the Japanese-Language Proficiency Test.
 - b. Database and search system of the library.
 - c. Online consultation for teachers and learners.
 - (2) Support projects for online services for Japanese language programs, teacher training, copyright free teaching materials, placement tests, etc.

The Japan Foundation Los Angeles Language Center (JFLALC) is pleased to announce this first-formed strategy, on the occasion of the first year of the new century, to support and promote Japanese language education in the United States. The strategy in its entirety is comprised of the mission, three fundamental strategies, and action plans.

The mission statement is the “flag” and the ultimate goal of the JFLALC. It defines the direction of the JFLALC’s activities and the shape of its programs. All the activities of the JFLALC must be pertinent to the mission in one way or another. The staff of the JFLALC

is to understand the mission and work hard towards its realization. It also serves to help service users identify the aim of the JFLALC.

Three fundamental strategies have been set to carry out the JFLALC’s mission in the most efficient and appropriate manner. FOCUS means that the JFLALC will continue to focus its limited resources primarily on the pre-collegiate level schools and teachers, considered to be in immediate need of assistance. ALLIANCE also intends that the JFLALC will devote its limited resources most efficiently by linking with a wide range of excellent organizations and experts sympathizing with

the mission of the JFLALC. In particular, the JFLALC regards the Alliance of Association of Teachers of Japanese (AATJ) as one of its most important partners in supporting and developing Japanese language education in the United States. INFORMATION TECHNOLOGY, represented by the internet, improves access to resources currently centrally located in the Los Angeles Language Center. As its first step, the JFLALC has begun developing websites to make these resources more readily available throughout the country.

南カリフォルニア日本語学園教師会議とアンケート結果分析報告書

去る2000年11月5日に国際交流基金ロス・アンジェルス日本語センターで開いた南カリフォルニア日本語学園教師会議の報告とそれに先立ち行ったアンケートの結果分析報告を簡単にまとめ紹介する。¹ この会議とアンケートは当センター講師片岡裕子と古山弘子がカリフォルニア州立大学ロング・ビーチ校の越山泰子講師の協力を得て企画したものである。

I. 会議

日本語学園は米国における日本語教育の中で重要な位置を占めてきた教育機関の一つである。これらの学園が時代の流れに旨く合流し機能するための有効な援助方法を見出す第一歩として、現状調査（特に学園の教育目的や内容、教師研修の必要性などを学ぶ）をすることにした。検討の結果、会議という形でできるだけ生の声を集めた現状把握がよいのではないかということになった。会議では、教師が一同に会して問題点を出し合い、今後のクラスでの参考にできるような討論や、また近い将来、当センターが有効、且つ有益な研修/ワークショップを実施できる内容を導きたいと思った。

準備：

教師の置かれている状況、意見を前もって調査した上で、討議のテーマを決定することにし、会議の案内状、申し込み用紙とともに無記名のアンケート用紙を送付した。

参加者：

在南カリフォルニア日本語学園教師個人宛に約160通、学校宛に14通案内状を送ったところ、日本語学校教師34名（計7校）が参加した。

プログラム及びフォーマット：

形式として最初に講師がアンケートの結果を発表し、その結果の中から最も大切だと思われる点を取り上げて小グループでディスカッションするという方式を取った。

内容：

ディスカッショントピックとして、1) プログラム・ゴール、到達目標、2) 教材、3) 学習者の動機付け、学習態度の指導を選んだ。各々のトピックについて、ディスカッションのガイドラインとなるよう、いくつかの質問を用意した。1) では、「日本語能力」とは何か、話す、聞く、読む、書く、の4技能各々に関してどのような到達目標を立てているか、また近年それらの目標が変化しているかについて、2) では教科書内容の補填の仕方、学園で必要な教材、教科書と到達目標との関係について、そして3) では年齢別/習熟度別クラス編成、家庭で日本語を話さない児童生徒への配慮、学習態度の問題の原因と解決策、児童生徒に「やる気」を起こさせる方法について、などが質問内容であった。

II. アンケート

目的：

このアンケートは、会議に先立ち行われたものである。当初は、会議に出席する教師について前もって調査し、それに基づいて会議の内容や進め方をあらかじめ準備しておく目的で

行われた。しかし結果的には会議の出席者が少なく、またアンケートの提出者が会議の前日になっても3分の2以下だったために、会議そのものには参考資料程度に使用されたのみとなった。

回収率：

アンケート提出者は会議出席者34名中、合計29名²であった。会議に参加したのは総数34名であったが、参加学校数は7校であり、学校によって多いところで12名、少ないところで1名という差があったため、今回のアンケート結果は実は2-3校の実態を代表しているということもありえる。また、総数は南カリフォルニアの全体の教師数から見れば少数で、総括的な統計学的処理をするには及ばないデータであった。以上のような点から今回のアンケート結果が現在の日本語学園を代表するということは決して言えないということとはご了解いただきたい。

内容：

今回のアンケート調査の内容は次の通りであった。³

- 1) 継承語日本語教育に従事する教師の特徴の調査。（例えば、教師の教育バックグラウンド、教師経験等）
- 2) 継承日本語教育の教師が直面している問題の調査。
- 3) 日本語学園のプログラムの目標やカリキュラムの内容の調査。
- 4) 継承日本語の教師のための研修に関する調査。

III. 会議とアンケートの結果

会議及びアンケート調査の結果、現在の南カリフォルニアにおける継承日本語教育が抱えている問題点がはっきりしてきた。特に、多様化した学習者、新しい時代の教材や教え方の問題、あいまいなプロとしての教師像の3点がこの会議とアンケートを通して浮き彫りにされた。

多様化した学習者

もともと日本語学園は日系2世のための日本語教育のために設けられたのであるが、現在の学園の学習者が多様化していることは過去十年ぐらいよく耳にすることはあった。今回の会議とアンケートでもそのことがあきらかになった。アンケートでは、半数以上の学習者が家庭で非日本語環境の中で生活していることがわかった。また、学習者の多様化に伴った日本語能力のばらつきが教育上の一番の問題であることも明らかになった。しかし現状では、このような多様化した学習者の問題の対処法が、個人指導や複数の指導案を作るという形で教師個人に任ざられてしまっている場合が多いようである。

新しい時代の教材や教え方の問題

教え方においては、従来の読み書き中心ではなく、近年の外国語教育のオーラルコミュニケーションを重視する傾向が学園にもあることがわかった。しかし一方で、担当学年の日本語能力向上の目標が書けない教師がいたり、また、書かれていても「到達目標」とは何かははっきりせず、目標とはなりえない内容も多くあった。また、学園教師には研修の場が非常に少ないため新しい時代の教材や教え方を学ぶ機会がないこともわかった。

あいまいなプロとしての教師像

昔から変わらぬ点として、あいまいな学園教師像というものが浮かびあがった。会議及びアンケート調査の結果、ほとんどの教師が献身的に日本語教育にかかわっていること、日本語学園における教育はこれらの教師の努力と熱意の上に成り立っていることを改めて認識した。現状は、しかし、厳しい。現在の日本語学園教師はそれをキャリアと呼ぶにはあまりにもむずかしい環境に置かれているし、力を持った教師が育ちにくいようだ。例えばアンケートに無回答が目立ったことや、研修の必要性を訴える人が少なかったことなどは、プロ意識の存在を感じさせるものではなかった。これは日本語学園の待遇の問題が多いに関係しているといえる。

また、今回最も根底で問題になったことは、日本語学園教師にこの会議を開いた3人を同じ日本語教育という土俵の中に入れてという認識をしてもらえなかったことである。⁴ その件に関しては、主催者側も大いに反省する点はあるが、そこには日本語学園教師のあいまいなプロとしての弱い立場があったことも事実である。

今後の展望

会議の結果、講師側は日本語学園を支援していく上で以下の提案をした。

1. 日本語学園教師一般に対する研修

ロサンゼルス日系社会の変遷とともに日本語学園も今大きな過渡期を迎え、学校内、日系コミュニティー、大学等の研究団体が丸となり継承日本語教育のあり方について検討する時期にあると思う。そのためには、教育現場の中核をなす教師の存在と資質をもう一度見なおし、時代に合った教師像を育成していく必要がある。継承言語の重要性が今まで以上に認められてきた現在、教師研修は日本語学園を支援していく上で必須である。

2. モデル・スクールの設置

今回収集されたデータによると日本語学園教師の中に、言語教育を専門に学習した人や、新しい言語教育についての知識のある人は非常に少ない。日本語学園における効果的な教育は、学習者の動機付けや父兄とのコミュニケーション等、種々の問題点を抱えてはいるが、基本としてはやはり言語教育の方法、内容が第一に来るべきであろう。そのためには、一つのモデル・スクールを設定し、そこで言語教育専門家と教師が協力して現在の児童・生徒のニーズにあったカリキュラムを作成し、評価の方法も定めた上で、教師研修を行ない、

児童・生徒を指導していく、という方法が望ましい。新しい考え方をもった学園、あるいは体制を変えたいと考えている学園が中心になって、言語教育専門家のいる大学と共同で助成金申請を行ない、父兄及び広く地域社会の協力支援のもと、数年計画で実行するのが望ましい。

3. リーダーの育成

日本語学園教師の地位を高めていく上で、専門的知識がある程度あり、また向上心と熱意を持ったリーダー教師の存在は不可欠である。学校運営のためのリーダーではなく、リーダーとなる「教師」である。現職の教師がリーダーとならなければクラスレベルにおける成果は上がらない。日本語学園においても同様で、言語教育、特に継承言語教育について知識があり、現場も分かっている、しかも他の教師をまとめていけるような人材が必要である。そこで、提案したいのは、上記の条件を満たすリーダーとなりえる教師数人（年齢は問わない）の特別教育である。奨学金のような形で大学、その他の研修プログラムに参加してもらい、研修後は当センターの講師ともども研修を行なっていくという形である。先に述べたモデル・スクールと組み合わせてもよい。

Note

¹両レポートの全文は

http://www.jflalc.org/teaching/fclty_rpt/jpz_kyoushi/heritage1.html,
http://www.jflalc.org/teaching/fclty_rpt/jpz_kyoushi/heritage2.html

に掲載した。

²このデータは総括的な統計学的処理するには及ばないものであった。しかし回収されたアンケートの回答には会議に参加した教師より寄せられた日本語継承言語教育に関する貴重な回答や意見が含まれていたため、それを反映すべくここにまとめ報告する。

³実際のアンケートは

http://www.jflalc.org/teaching/fclty_rpt/jpz_kyoushi/heritage1.html「南カリフォルニア日本語学園教師会議報告書」の添付資料を参照。

⁴詳しい内容http://www.jflalc.org/teaching/fclty_rpt/jpz_kyoushi/heritage1.html「南カリフォルニア日本語学園教師会議報告書」のV. 考察、反省、及び今後の展望を参照。

(continued from page 1)

ACTION PLANS are the set of priorities to embody the mission through the fundamental strategies. They are made up of three main columns. The first column is set for current Japanese language programs and in-service teachers. With occasional advice and assistance from experts and other organizations including the AATJ, the JFLALC will continue to offer opportunities of various training for teachers and endeavor to develop new programs that respond to teachers' needs. The JFLALC will also continue to support schools with Japanese language programs through the Japan Foundation's myriad of grant programs. The second column represents outreach activities to introduce Japanese culture and language to schools at the grass-roots

level. The broader approach to schools with limited opportunities to experience Japanese culture and language is significant in terms of its close link with the JFLALC's mission. The JFLALC is currently seeking ways to work with more than thirty Japan-America Societies located throughout the country. The JFLALC is particularly interested in their "Japan in a Suitcase" program, which has had great success thus far in introducing the Japanese culture and rudimentary knowledge of the Japanese language to elementary school children. The JFLALC will strongly support the program and develop it further in cooperation with the societies. The third and final column is to develop and support information technology, in accordance with the so named fundamental strategy. This column will be

twofold: developing websites of the JFLALC, and supporting outer projects for online services for Japanese language education.

All the activities described under the strategy may not occur rapidly and smoothly. The JFLALC will review its entire strategy at the end of fiscal 2001-2002 (March). Based on the progress and feedback from various stakeholders, some of the items will be determined to continue and some not. The refined strategy will be announced at the beginning of fiscal 2002-2003. The JFLALC will endeavor to address its expertise to the challenges of maintaining a strong friendship between the United States and Japan. The JFLALC always welcomes your invaluable voice to us.

Japanese Language Grant Programs for 2002/2003 (via LA-Tokyo)

The Japan Foundation will administer the following grant programs for 2002-2003 to support the development of Japanese language education in the United States. The Foundation's Los Angeles Language Center will accept all applications submitted within the United States. All applications are due (postmark) December 1, 2001.

Some of these grant programs will be subject to pre-screening conducted by a select Advisory Panel convened in Los Angeles in January 2002. The final determination for all grant applications will be made at the Foundation's Tokyo Headquarters. Applicants will be notified of the results in April 2002.

Applications will be available by mid-September. Those in need of application forms or further information may contact Justin K. Miyai, Program Assistant at the following:

Email: justin_miyai@jflalc.org

Tel. (310) 449-0027 ext. 105; toll free: 1-888-667-0880

Fax: (310) 449-1127

By mail:

Justin K. Miyai, Program Assistant

The Japan Foundation Los Angeles Language Center

2425 Olympic Boulevard, Suite 650E

Santa Monica, CA 90404

- 1) Support Program for Japanese Language Courses Abroad:
Two categories of support: (1) Salary Assistance: designed to assist in the creation or expansion of a full-time teaching position up to an initial three-year period to help cover personal expenses; (2) Support for Courses: designed to partially assist the teaching staff's salaries, in order to maintain the positions for the year in question.
- 2) Support Program for Developing Networks of Japanese Language Teachers and Institutions:
Designed to assist organizations/institutions to conduct research, seminars or workshops at the pre-collegiate level.
- 3) Japanese Language Teaching Materials Donation Program:
Selected teaching materials from the JF's list will be donated to educational institutions.
- 4) Training Programs for Japanese Language Teachers at the Japanese Language Institute, Urawa in Japan:
Offering teachers opportunities to attend an intensive course in Japanese language and teaching methodology. Four types of training: (1) Long-Term; (2) Short-Term; (3) Japanese Abroad (Zaigai Hojin Kenshu); and (4) Three-Week Summer Intensive course for teachers in the U.S., Canada, and the U.K. (non-Japanese).
- 5) Assistance Program for Japanese Language Teaching Materials:
Offering financial assistance to publishers of printed resources or audio-visual materials related to Japanese language education.
- 6) Japanese Language Education Fellowship Program:
Fellows will be invited to the Japanese Language Institute,

Urawa in order to participate in cooperation with, or under the guidance of Japanese experts in (1) development of teaching resources; (2) teaching methods; and (3) research.

- 7) Japanese Speech Contest Support Program:
Intended to assist organizations hold Japanese speech contests by providing partial financial support and prizes.
- 8) Japanese Language Program for Researchers at the Japanese Language Institute, Kansai in Japan:
Long-term intensive training courses in Japanese for scholars or researchers who need to learn Japanese for their academic research activities.
- 9) Japanese Language Program for Postgraduate Students at the Japanese Language Institute, Kansai in Japan:
Intensive training courses in Japanese for postgraduate students who major in the social sciences or the humanities and wish to improve their Japanese language abilities.

JFLALC Mini-Grant Programs

Mini-grant programs are emergency-type funds of a relatively modest amount. They are screened and administered by The Japan Foundation Los Angeles Language Center (JFLALC) with the primary objective of supporting K-12 level Japanese teachers in the United States. Applicants are encouraged to secure additional resources elsewhere to complete the desired project. Specific programs include:

1. Annual Workshop and Conference Grant Program:
This grant is to assist Japanese teachers' associations hold an annual workshop or conference in the United States or Canada. The grant amount will not exceed \$1,000 per project.
2. **(NEW!)**
Special Project Grant Program:
This grant is intended to assist special projects or events that enhance Japanese language education in the United States or Canada. Projects may include one-time workshops and conferences. Priority will be given to projects that are unique and unprecedented. Consultation with academic specialists at the JFLALC will be available to finalize content. A project can also be co-organized with the JFLALC. The results from the project should be disseminated widely. The grant amount will not exceed \$5,000 per project.
3. **(NEW!)**
Japanese Language Research Fellowship Program:
Fellows will cooperate with or work under the guidance of academic specialists at the JFLALC in the development of teaching resources or research. The grant will be applicable to airfare and room and board expenses that fellows incur while working at the JFLALC in Santa Monica, and to the cost of materials development.

(continued on page 6)

平成14年度 日本語関連助成プログラム

国際交流基金では、米国における日本語教育の促進のため、平成14年度を対象に以下の助成プログラムを実施する予定です。米国内における申請は、原則としてすべて国際交流基金ロス・アンジェルス日本語センターが受付いたします。申請書はすべて2001年12月1日（消印有効）締め切りです。

助成プログラムの一部については、2002年1月に当センターで開催する予備審査会に諮られます。最終的な採否は国際交流基金本部にて決定されます。2002年4月中には全申請者に結果が通知される予定です。

申請書は9月中旬頃に出来上がる予定です。申請書をご希望される方や、更に詳細な情報をお知りになりたい方は、プログラム・アシスタントのジャスティン宮井までお問い合わせください。連絡先は以下の通りです。

Email: justin_miyai@jflalc.org
Tel: (310) 449-0027 ext. 105; toll free: 1-888-667-0880
Fax: (310) 449-1127
By mail:
Justin K. Miyai Program Assistant
The Japan Foundation Los Angeles Language Center
2425 Olympic Boulevard, Suite 650E
Santa Monica, CA 90404

1) 海外日本語講座助成 (Support Program for Japanese-Language Courses Abroad)
次の2種類の助成があります。1) 専任講師給与 (Salary Assistance: 日本語講座の新設・拡充に伴う専任講師の新規採用を目的とし、当初の3年間を上限に給与等の一部を助成) 2) 現地講師謝金 (Support for Courses: 当該年度の日本語講師スタッフの維持・確保を目的とし、謝金の一部を助成)。

2) 海外日本語教育ネットワーク形成助成 (Support Program for Developing Networks of Japanese-Language Teachers and Institutions)
初等中等教育レベルを対象に、リサーチ、セミナー、ワークショップを実施する日本語教育機関（非営利）を助成します。

3) 日本語教材寄贈 (Japanese-Language Teaching Material Donation Program)
基金の教材リストから選択された教材が教育機関宛てに寄贈されます。

4) 海外日本語教師研修 (Training Programs for Japanese Language Teachers at the Japanese Language Institute, Urawa in Japan)
日本語集中研修と教授法に関するコース参加への機会を提供いたします。(1) 長期、(2) 短期、(3) 在外邦人研修、(4) 北米・英国教師向け3週間集中コース (Non-Native Speakerのみ) があります。

5) 日本語教材制作助成 (Assistance Program for Japanese-Language Teaching Materials)

日本語教育に関する教材（視聴覚教材を含む）の出版に係る経費の一部を助成します。

6) 日本語教育フェロシップ (Japanese Language Education Fellowship Program)
日本の専門家の指導下もしくは共同で(1) 日本教材の開発、(2) 教授法、(3) リサーチ等を行う場合、浦和の日本語国際センターに滞在することができます。

7) 海外日本語弁論大会助成 (Japanese Speech Contest Support Program)
日本語弁論大会を開催する機関に対し、賞品・経費等の一部を助成します。

8) 専門日本語研修 (研究者) (Japanese Language Program for Researchers at the Japanese Language Institute, Kansai in Japan)
専門的な研修のために日本語修得を必要とする研究者のための日本語長期集中研修です。

9) 専門日本語研修 (大学院生) (Japanese Language Program for Postgraduate Students at the Japanese Language Institute, Kansai in Japan)
社会科学または人文科学の分野を専攻し、研究上日本語能力の向上が望まれる大学院生を対象とする日本語集中研修です。

JFLALC ミニگران プログラム

この他に、緊急性を要し、かつ比較的少額の助成で実現可能な事業をサポートするため、ミニ・グラント・プログラムがあります。これは米国におけるK-12レベルの日本語教師のサポートを主たる目的としており、国際交流基金ロス・アンジェルス日本語センター内ですべて審査・運営が行われます。申請者は、計画する事業の実施にあたっては、他からも財源を確保することが望まれます。

1) Annual Workshop and Conference Grant Program
米国各地の日本語教師会が、年次総会やワークショップを開催する際の経費を援助します (上限 \$1,000)。

(新設) 2) Special Project Grant Program
米国における日本語教育を拡充するための特別事業や催しに対して助成することを目的とします。事業には定例でないワークショップや会議も含まれます。過去に例のない独創的な事業を優先します。事業の成果は広く共有できるものとします (上限 \$5,000)。

(新設) 3) Japanese Language Research Fellowship Program
助成対象者 (フェロー) が、国際交流基金ロス・アンジェルス日本語センターの日本語教育専門家の指導下、もしくは共同で教材開発や調査をするため、当センターで作業をするにあたっての航空賃、Continued on page 6) 部属代、食費や教材開発に係る経費を助成します。

(continued from page 5)

4. Lecturer Dispatch Program:

This program is designed to assist a language/educational organization when it is going to hold a workshop or seminar in the United States or Canada, and wishes academic specialists of the JFLALC to conduct workshops and/or to make presentations on areas requested. In principle, the JFLALC bears for travel and other expenses for its academic specialist(s). The organizer should bear the cost to be incurred to hold such workshops by themselves, or if eligible, they may also apply for our Workshops/Conferences Grant program for those expenses. Organizations in Canada must first contact the Japan Foundation Toronto Office, which will refer the applications to the JFLALC.

Mini Grant Programs Deadlines:

November 1	Programs for January-March
February 1	Programs for April-June
May 1	Programs for July-September
August 1	Programs for October-December

For more information/applications on any of the above mentioned grant programs, please contact Justin K. Miyai, Program Assistant at 1-888-667-0880 (ext. 105) or by email justin_miyai@jflalc.org

(continued from page 5)

4) Lecturer Dispatch Program

米国もしくはカナダにおいて、ある特定のテーマでワークショップやセミナーの開催を予定し、国際交流基金ロス・アンジェルス日本語センターの日本語教育専門家に講師を希望する場合、その主催者である言語・教育機関に対して援助を行います。原則として当センターでは専門家の旅費等を負担します。ワークショップ自体の開催経費は主催者が負担するものとします。もしくは申請資格がある場合（米国のみ）Workshop and Conference Grant Programにも合わせて申請することができます。なお、カナダで開催するものについては、国際交流基金トロント日本文化センターにて申請書を受け付けます。

ミニグラントの締切は以下の通りです。

1月1日	1月～3月	実施のプログラム
2月1日	4月～6月	実施のプログラム
5月1日	7月～9月	実施のプログラム
8月1日	10月～12月	実施のプログラム

更に詳細な情報をお知りになりたい方は、プログラム・アシスタントのジャスティン宮井までお問い合わせ下さい。（Tel 1-888-667-0880 ext. 105）

日本語能力試験

Japanese Language Proficiency Test 2000

The 17th Annual Japanese-Language Proficiency Test (JLPT) was held on December 3rd, 2000 in 85 cities in 36 countries. In the U.S., Honolulu joined in hosting this test for the first time last year in addition to New York, Los Angeles, and Chicago. In the U.S., 863 people applied to take this test, with 730 people actually attending. On the whole, the passing rate in the U.S. was 55 percent. Detailed charts summarizing the results in the U.S. will be posted on our web site for your reference.

The 18th annual test administration of this test is schedule to be held on December 2nd of this year. We are hoping that the number of test takers will increase this year. Application forms will be available from the middle of August. Please contact our office at the following address in order to obtain information as well as an application form.

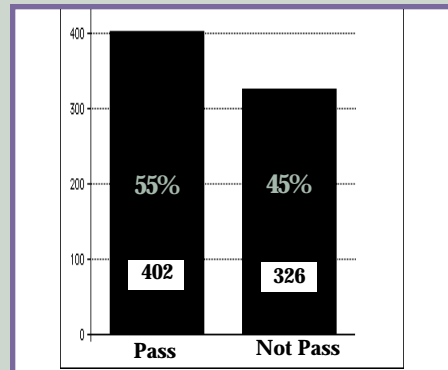
The Japan Foundation Los Angeles Language Center

2425 Olympic Blvd. Ste 650 E.

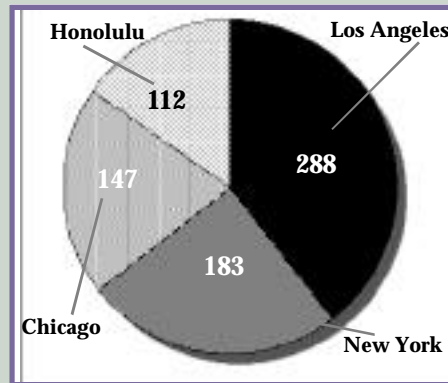
Santa Monica, CA 90064

Tel. 310.449.0027 Toll Free. 1.888. 667.0880 Fax. 310.449.1127

E-mail: noryoku@jflalc.org URL: <http://www.jflalc.org>



2000 JLPT Test Results



Number of Test Takers by Test Site



NEWS FROM THE JAPAN FOUNDATION Language Center

2000 JAPAN FOUNDATION LUNCHEON

Boston's Sheraton Hotel was the site of the 2000 edition of the Japan Foundation Luncheon. Attracting a lively and near sell-out audience, Japanese educators and supporters alike were treated to an informative and entertaining two-hour program. Speakers included Mr. Yoshii from the Consulate General of Boston, Alliance Executive Director Ms. Susan Schmidt, who delivered the keynote address, and Mr. Toshihisa Tanaka (Director) and Mr. Takashi Imai (Deputy Director) from the Japan Foundation Los Angeles Language Center. Making this year's luncheon especially successful were the generous contributions made by the Japan Foundation's invaluable supporters (please see list to the right). Because of them, many members of the audience went home with more baggage, not necessarily a bad thing in this case, and a bigger smile. Thanks to everyone once again, and we look forward to seeing you at ACTFL2001 in Washington, D.C.



PRIZE DRAWING

LIST OF DONORS (in alphabetical order)

All Nippon Airways Co., Ltd.
Aurora Foundation
Bess Press
Cheng & Tsui
Discover History
DynEd Int'l Inc.
Fujitsu Systems Business of America
Hitachi, Ltd.
Holiday Inn Torrance
House Foods of America Corporation
Japan Book Center (JP Trading, Inc.)
Japan Forum
Japan Travel Bureau USA, Inc.
Japan Publications Trading Co., Ltd.
JETRO, Los Angeles
Kinokuniya Bookstores
Kisetsu Educational Group
Kitagawa & Ebert, P.C.
Kodansha America, Inc.
Kurosio Publishers
Makita USA, Inc.
New Global Co., Inc.
New Otani Hotel & Garden in Los Angeles
Northeast Council of Teachers of Japanese (NECTJ)
Pentel of America, Ltd.
Shogun Tours USA, Inc.
Sony Education Group
TDK Semiconductor Corporation
Tokyo Shoseki
3A Corporation
Yamaha Corp. of America

Professional Development Funding from AATJ

With funding from the Japan Foundation Los Angeles Office and Language Center, the Alliance of Associations of Teachers of Japanese (AATJ) has established a fund for the purpose of helping K-12 teachers who are members of the Association of Teachers of Japanese (ATJ) or the National Council of Japanese Language Teachers (NCJLT) to take advantage of professional development and in-service training opportunities. A limited number of grants are available to individual teachers for a minimum of \$50 and a maximum of \$600. An individual teacher may request funding only once each calendar year. Funding may be used to cover workshop or conference attendance, but not tuition costs for credit. Grant funds may also be used to hire a substitute teacher while you engage in an activity.

Applications must be submitted at least one month before the activity for which funding is requested takes place. Applications submitted after the event will not be considered. Priority will be given to applicants who [a] describe

their goals for professional development, [b] show how their proposed activities will help them to achieve their goals, and [c] have a plan for sharing their experiences or results with other teachers.

Activities funded include, for example:
Attend ACTFL conference
Give a presentation or conduct a workshop
Attend state or regional conferences
Mentor another teacher
Receive OPI training
Develop curriculum or other materials
Conduct action research
Collaborate/consult with a mentor teacher

Application forms may be downloaded from the Internet at <http://www.Colorado.EDU/ealld/atj/ATJ/prodevapp.html>.

	<i>ext.</i>
TOSHIHISA TANAKA, DIRECTOR	101
TAKASHI IMAI, DEPUTY DIRECTOR	102
MASAKO MIWA, OFFICE SUPERVISOR	103
NAOKO WATANABE, PROGRAM ASSOCIATE	104
JUSTIN MIYAI, PROGRAM ASSISTANT	105
RIMI YANG, LIBRARIAN	107
EIICHI ITO, LIBRARIAN	108
KEIKO MARTIN, LIBRARY ASSISTANT	118
GRACE KATAOKA, RECEPTIONIST	100
NAOKO ROWAN, RECEPTIONIST	106/100
HIROKO KATAOKA, CHIEF ACADEMIC SPECIALIST	120
HIROKO FURUYAMA, ACADEMIC SPECIALIST	121

Voice mail is engaged after 5:30 in the afternoon until 9:00 in the morning Telephone and fax number is the same for all staff.

Phone: (310) 449-0027
 Toll Free: 1-888-667-0880
 Fax: (310) 449-1127
 E-mail: jflalc@jflalc.org
 Home page address: <http://www.jflalc.org>

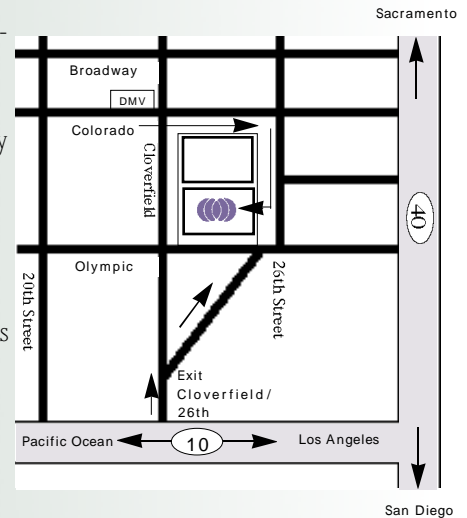
NIHONGO LIBRARY

Nihongo Library is a resource library to support Japanese language education in the United States. Library membership is available for teachers of Japanese and for researchers in the field. For further information regarding Library policy, please visit the library section of our web site.

Open hours: Monday ~ Friday 10 am to 5 pm
 Every 3rd Saturday of the month 1 to 5 pm
 Holidays: 4/30, 5/28, 7/4, 7/20, 9/3, 10/8, 11/22, 11/23,
 12/24, 12/25, 12/31

Materials may be borrowed for a period of up to three weeks. A member may check out a maximum of three books, three periodicals and two audio-visual materials from the library at any one time. The library is also able to circulate materials by mail to serve not only members who visit the library, but also members who are outside of the Los Angeles area.

Those members may request materials by mail, fax, phone, or e-mail with their library card number. You can contact the library by phone at (310) 449-0027; 1-888-667-0880, fax at (310) 449-1127, e-mail at nihongo@jflalc.org



THE JAPAN FOUNDATION
 LOS ANGELES LANGUAGE CENTER
 2425 Olympic Blvd., Suite 650E, Santa Monica, CA 90404

BULK RATE
 U.S. POSTAGE
PAID
 MERCURYMAILING
 SYSTEMS INC.